

これまでに HIV 感染症の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

- 順天堂大学医学部附属順天堂医院総合診療科では「電子カルテアラートシステムによる HIV 感染者早期発見の取り組み」という研究を行っております。
この研究は、初診時に HIV が見逃されないような取り組みとして、電子カルテに HIV 感染症アラートシステムの導入を行い、早期発見・早期治療に繋げることを主な目的としています。
- この研究の対象となる患者さんは、過去 5 年間に HIV 抗体検査を行っていない方で、①STS・TPHA（梅毒）、IgM-HA（A 型肝炎）、HB s 抗原（B 型肝炎）、HCV 抗体（C 型肝炎）のいずれか陽性又は②20～50 歳で過去に帯状疱疹がある、順天堂大学総合診療科を受診した方です。
利用させていただくデータは下記です。
- 年齢、性別、疾患別、HIV 抗体検査の有無及び検査結果、HIV 感染症アラートシステムにより検査が必要とされた人数、同システムにより判明した HIV 陽性の人数。
- 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。
- 患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございませんが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。
- この研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。
- ・ 研究実施期間 倫理委員会承認日 ～ 2021 年 3 月 31 日
 - ・ 研究責任者 内藤 俊夫
 - ・ 研究分担者 鈴木 麻衣、福井 由希子、田形 愛美、福島 真一
- この研究は、学内の研究費により実施いたします。外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果及び解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「順天堂大学利益相反マネジメント規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第 12 の 1 (2) イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 総合診療科

電話：03-3813-3111

研究担当者：内藤 俊夫